

会 報

No. 63 2008(平成20年).9.13
サポート・トレッキング・グループ

1. 8月23日(土)・24(日) チェンソー講習会 もみのき森林公園(廿日市市吉和町)
森林ボランティア活動における安全な技術・技能の習得講習会
参加料 17,000円 参加者 2名

2. 8月27日(水) 例会準備作業
廃材丸太(直径12cm 長さ150cm)5本・杭をカケヤ(大型の木槌)で打ち込み番線で
固定し、横断溝の増設を半完成。道標2箇所の杭を取替えた。参加者 2名

3. 9月1日(月) 例会準備作業
山頂展望台真下、弱い路肩の補強作業。廃材丸太(直径12cm 長さ150cm)3本・廃
材杭をカケヤで打ち込み番線で固定してしっかりした路にした
山頂展望台近くの南側岩場、滑りやすい所(事前に岩を磨きセメント接着材を塗る)
に角材・板で枠を作ってセメントを流し込んで階段を作る
気象レーダーの西側登山路、滑りやすい路に廃材の丸太を割り、穴を2ヶ所空けて
六角ボルト2本打ち付けて階段にした(14箇所)
参加者 4名

4. 9月7日(日) 例会

ところ 灰が峰 檜林に沿った昔からの登山路

参加者 男性11名 女性3名 合計14名

整備内容	未完成横断溝の整備 路を跨ぐ水路作り ゴミの回収	路に転がる小石の撤去 「宮岡」 麻袋で階段補強 階段の土砂撤去
作業の結果	イ 未完成横断溝、枯れ木や石を探し出し重ね更に深く掘って完成 ロ 路を横切る水路作りは、掘り込む場所・枯れ木の活用・麻袋に土砂を つめ杭を打って固定(参加者の知恵を出し合って皆で楽しく作業) ハ 長年階段にこびり付いた土砂の撤去に手間取ったがセメント面が出た ニ 岩場にセメント階段を作り足が滑りにくくなった ホ ゴミの回収、頂上近くで空き缶・ペットボトル等を拾う	

5. 9月7日(日) マツタケ山再生里山整備事業 広島県緑化センター(広島市東区福田)

ひろしま緑づくりインフォメーション(GIC)10周年記念事業

当会の例会と重なった為、参加不能としていましたが、昨年当会が参加者数トップで
今年ゼロは困るのでぜひ数名の参加要請をうけていた。参加者 2名

6. 次回例会のご案内 当日お差支えのある方はご一報いただくと幸いです(今回17名)

と き 平成20年10月5日(日)午前9時集合 正午終了(午後3時頃ま
集合場所 灰が峰公園 「でご協力できる方はよろしく)

整備内容 檜林の間伐材を整理・粉砕機による竹・木のチップ化
持ちもの ヘルメット 名札 帽子 腕章 飲み物 タオル 手袋

灰ヶ峰登山路整備 (1/3)

平成20年9月7日例会
サポート・トレッキング・グループ



山頂手前の滑りやすい岩場の登山路



岩を磨き、接着剤を事前にぬってセメントを流す



岩場の登山路に滑り止めセメントの階段を作る



山頂気象レーダをバックに当日の参加者



頂上展望台真下の弱い路肩に廃材丸太3本を取付ける
(径12cm×長さ1.5m)



階段の土砂を撤去、清掃後



林の中の倒木を杭で固定して横断溝を作る



廃材丸太を半分にして、2本並べて横断溝を作る
(径12cm×長さ1.5m)